

資料提供  
 令和8年3月31日  
 課名 健康危機管理課  
 (感染症・疾病管理センター)  
 担当者 片平  
 電話(直通) 082-513-3068  
 (内線) 3068

## 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

( 令和8年3月解析分 )



### 1 今月のトピックス

#### マダニによる感染症に注意しましょう

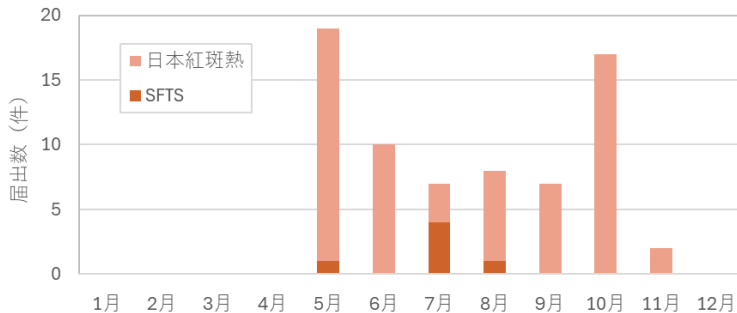
フタトゲチマダニ

マダニは主に森林や草地などの屋外に生息しており、気温の上昇とともに活動が活発になります。そのため、県内では、例年4月頃からマダニが媒介する感染症\*の発生の増加が確認されています。

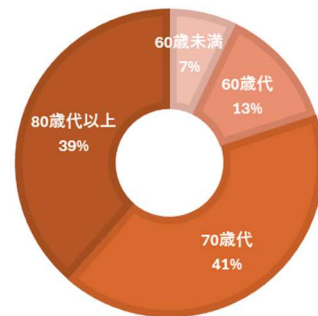
春になり、農作業・庭仕事・レジャーなど野外で活動する機会が増えますが、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

\*重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱など、病原体を持ったマダニに咬まれることにより発症する感染症(すべてのマダニが病原体を持つわけではありません)

マダニが媒介する感染症の発生状況 (令和7年 広島県)



年齢別発生状況 (令和7年 広島県)



疾病名	潜伏期間	症 状		発生件数	
		初期症状	特 徴	R6年	R7年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6~14日	倦怠感 悪寒	消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれんなど）リンパ節腫脹、呼吸器症状、出血症状（紫斑）	10	6
日本紅斑熱	2~8日	急な発熱 (38~40℃)	発疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分に多い	73	64

#### ■ 予防方法

野外活動時の服装に気を付けましょう（長袖、長ズボン、帽子、手袋、首にタオルを巻く等）。活動後は体や服をはたき、自身やペット（犬や猫等）にマダニがついていないか確認しましょう。

#### ■ 吸血中のマダニを見つけたとき

無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置してもらいましょう。

#### ■ マダニに咬まれた後に発熱等の体調変化があった場合

すぐに医療機関（内科・皮膚科など）を受診し、マダニに咬まれたことを医師に伝えてください。



詳しくは、広島県のホームページをご覧ください。

広島県 マダニ

検索

## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年2月分(令和8年2月2日～令和8年3月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	25,564	68.72	-	↗	11	突発性発しん	24	0.11	0.19	↗
2	インフルエンザ ※3	9,444	25.39	5.47	↑	12	ヘルパンギーナ	1	0.00	0.03	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	334	0.90	-	↘	13	流行性耳下腺炎	1	0.00	0.01	
4	RSウイルス感染症	135	0.60	0.40	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	73	0.33	0.48	→	15	流行性角結膜炎	53	0.70	0.61	→
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	521	2.33	1.22	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	1,833	8.18	7.26	↗	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
8	水痘	47	0.21	0.07	↘	18	マイコプラズマ肺炎	31	0.39	0.12	↓
9	手足口病	3	0.01	0.16		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	21	0.09	0.02	↓	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	0.10	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年2月分(2月1日～2月28日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	55	2.50	2.89	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	3.65	3.35	→
22	性器ヘルペスウイルス感染症	20	0.91	0.87	→	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.03	
23	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.59	↗	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
24	淋菌感染症	16	0.73	0.94	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

#### 急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (10.99 → 25.39)  
○急減疾患 伝染性紅斑 (0.20 → 0.09)  
マイコプラズマ肺炎 (0.82 → 0.39)

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1, 2, 3	1～13	14, 15	21～24	16～20, 25～27	
定点数	37	56	19	22	20	154

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	41	結核(41)〔西部保健所(2)、東部保健所(7)、北部保健所(2)、広島市保健所(15)、呉市保健所(2)、福山市保健所(13)〕
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔東部保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(2)〕
四類	1	レジオネラ症(1)〔福山市保健所(1)〕
五類	49	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所(2)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(7)〔西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、呉市保健所(3)〕
		急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔東部保健所(1)、広島市保健所(3)〕
		破傷風(1)〔広島市保健所(1)〕
		梅毒(12)〔東部保健所(1)、広島市保健所(7)、福山市保健所(4)〕
百日咳(19)〔西部東保健所(4)、広島市保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(7)〕		